

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

LIGHT UP ROTARY

ロータリーに輝きを

2014-2015年度 国際ロータリー会長 ゲイリー C. K. ホアン



2014-2015年度

会長:吉田正道 幹事:亀井敏勝 クラブ会報委員長:関 貴之

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2015 May 13

■ 2014~2015 年度方針

「職業奉仕の原点に立ち返り、いきいき(粹・意気)ロータリーライフ」

NO.39

例会報告

- 第2081回例会 平成27年5月13日(水)晴
- 5月は私の心に残るロータリー体験を語る月間
- 君が代
- ロータリーソング 奉仕の理想

●出席報告 会員 106 (97) 名中 出席79名

出席率81.44% 修正出席率81.15%
(4月15日分)
修正出席率81.26%
(4月22日分)

●ゲスト紹介

・ゲストスピーカー

愛知県環境部自然環境課長 陣内さゆりさん

●ニコボックス

「卓話のお返し」ゲストスピーカー 陣内さゆりさん
「小池康資さんが本日入会されます。皆さんよろしく
お願いします。」 伊藤尚貴君

「本日入会させていただくこととなりました。小池
康資と申します。今後とも宜しく願い申し上げます。」
小池康資君

「本日入会の杉本さん、歓迎致します！」
田尻幹夫君、安井隆豊君

「本日は私の飲み友達の杉本さんを宜しく願い致
します。」 内間三好君

「本日と合ロータリーに参加させていただくこと
になりました。よろしく願い致します。」

杉本雅彦君

「めざそう「改快皆」出席キャンペーンにご協力
いただきありがとうございます。来週も皆出席よろ
しく願い致します。」

出席委員会委員長 高木一平君

「松原先生、お世話をかけました。ありがとうございます。」
吉田正道君

本日のニコボックス 8件 37,000円
累 計 182件 2,211,000円

亀井敏勝幹事報告

▽5月のロータリーレート

5月のロータリーレートは、1ドル、118円です。

▽名古屋栄ロータリークラブよりサイン受付中止の
お知らせ。

5月18日(月)サイン受付有とご案内させてい
たいただきましたが、サイン受付は取りやめとなりま
した。

▽当クラブ行事予定

・5月13日(水) 本日、例会終了後、次年度クラブアッ
センブリーを行います。

・5月20日(水) 例会終了後、クラブアッセンブリーを
行います。クラブアッセンブリー終了後、
理事会を行います。

・5月27日(水) 春の家族会、百々 あずささんショー。

登録・受付 17時

開会 17時30分

閉会 20時30分予定

場所はウェスティンナゴヤキャッスルです。

※クラブ計画書の行事予定では、5月20日(水)
が春の家族会となっておりますが、春の家族会
は5月27日(水)に変更となり、クラブアッ
センブリー・理事会は5月20日に変更となります。

※5月27日(水)お昼の例会はございません。

・6月10日(水) あじさい夜間例会、18時~。場所は
聖ヨゼフ館です。。

※本日、ご案内を配布しております。

※6月10日(水)お昼の例会はございません。

吉田正道会長挨拶

“公道(こうと)”

皇月5月最初の例会です。本日は、尾張名古屋の
気質、美意識にふれたいと思います。梅原猛は、「日
本人の価値観の基本は美意識にある」と言った。「綺
麗な生き方をしようとしている人間が少なくなった」

ともいっている。

年度に掲げたテーマ、「粋、意気」これらは京阪、江戸の美意識です。「粋(すい)」は豊麗優美、絢爛豪華な美意識、突き詰める美意識です。一方「意気」は、やせ我慢、反骨精神を専らとし、美を次とする。それでは、名古屋はいかなる美意識か？

「公道」と書いて「こうと」あるいは「こうとう」と呼びます。名古屋では「こうとい」「こうてー」などと言い回します。「その着物はこうとすぎーせんか」「こうといこと言うなー」といった風になります。

意味合いとしては、「地味な、目立たない」「難しい、洒落た」ですが古くは、いぶし銀のような渋さをあらかず美意識です。ただし、「上町(うわまち、)言葉」として旦那衆の間だけの美意識であったようです。

さらに、この「こうと」は尾張の茶の湯の気質と美意識をあらわし、手堅いこと、堅実なこと、地味で品格のある様を尊びます。茶風と同じく名古屋の懐石料理でも、質朴で堅実で品格のある「公道(こうと)」であること、つまり、見た目よりも味付け重視、それもきちんと下味のつけられたしっかりとした料理が喜ばれる。この点、目を見張るほど手の込んだ外見を呈する昨今主流の懐石料理とは、明らかに一線を画しています。伝統的な尾張の美意識は「公道(こうと)」にあるということです。質実剛健、気品を尊ぶ気風といえます。その一方で見栄っ張りなことも。

尾張以外でも、たとえば匠の里、飛騨古川には、「やんちゃ」「こうと」「そうばくずし」という言葉があって、この三つが、飛騨古川の建築、町並み景観を理解するキーワードのようです。その三つのうちの「こうと」とは、質素でも品格があることを重んじる気風をいい、金をかければいいというわけではないこと。しっかりとした落ち着きが大切にされ、そのような家は「こうとな家やなあ」と誉められるそうだ。

翻って、我がクラブのみなさんの美意識はいかに？人は見た目での判断が95%と言われます。内面はさておき、服装をみると、どなたとは申しませんが、みなさん大変な着道楽で、お洒落で美意識の高いことがうかがわれます。着物に関して、江戸の意気では、いわゆる四十八茶百鼠で奢侈禁止令に対抗しました。傾奇者、伊達男も洒落者で反骨精神に富んでいます。わがクラブの会員のみなさんも企業経営者として好奇心、探究心豊か、挑戦者の気風に富んでいます。したがって、それがお洒落の誘因になってあらわれるのでしょうか。

新入会員紹介 (2015. 5. 13入会)

こいけ やすし
●小池 康資君 (S36. 1. 8生)

- ・事業所
有限会社 ケイ・エス・テクニクス 代表
- ・〒452-0962
清須市春日長久寺119-2
TEL <052> 409-7020
FAX <052> 409-7020
- ・職業分類 システム開発
- ・所属委員会 親睦活動委員会
- ・紹介者 伊藤尚貴君



すぎもと まさひこ
●杉本 雅彦君 (S23. 3. 10生)

- ・事業所
(株)NSソリューションズ中部
代表取締役社長
- ・〒450-0003
名古屋市中村区名駅南2-13-18
TEL <052> 589-5110
FAX <052> 589-5119
- ・職業分類 システム開発
- ・所属委員会 親睦活動委員会
- ・紹介者 武田 猛君、田尻幹夫君



●第10回理事会

(平成27年4月27日(月)18:00~シェ・コーベ)

- ・W.C.S.の件
- ・カンボジアの件
- ・その他

例会	月日	今後の予定
第2082回	5.20	社会福祉法人九十九会 理事 特別養護老人ホーム ユートピアつくも施設長 井戸田 真氏 「介護保険制度施行15年… 認知症ケアの現在」
第2083回	5.27	春の会員家族懇親会 受付17:00~ 開会17:30~ ウェスティンナゴヤキャッスル (お昼の例会はございません)

○このウィクリーは再生紙を使用しております。

卓 話

あいち生物多様性戦略2020について

愛知県自然環境課長 陣 内 さゆり



生物が生息しているのは、地球の表面の約30kmです。地球を直径20cmのボールに例えると、わずか0.5mmの薄い層に全ての生物が生息することになります。地球上の生物の数は、実はほとんどわかっていませんが、推定で3,000万種とされています。この多くの生物がそれぞれ関係しながら生態系をつくり、そこから、我々は、衣食住、気候の調整など、様々な恵みを受け取っています。

今、人間の活動によって、かつてないスピードで種の絶滅が進んでいます。地球の歴史の中で大量絶滅は過去5回あったといわれていますが、これらの自然状態での絶滅は数万年から数十万年の時間がかかっており、人間活動が活発になった過去100年には、遠い過去の100~1,000倍の速度で絶滅が起きているといわれています。

このため、生物多様性保全は地球環境問題として地球規模で取り組まれており、2010年に愛知・名古屋で開催されたCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）では、2020年までの世界の目標である「愛知目標」が採択されました。

あいち生物多様性戦略2020は、この愛知目標を達成するため、県として取り組む行動計画で、この中核的な取組が「生態系ネットワークの形成」です。これは、もともとあった自然が、開発などによって分断され、孤立してしまったことにより劣化した生態系を、緑地や水辺を保全・再生してつなぐことによって、生き物が移動できるようにして、生態系を回復する取組です。

生態系ネットワークを形成していくために、県内を9つの地域に分け、企業や大学、NPO、行政など多様な主体から構成される「地域協議会」の設立を進めており、現在、7つの協議会が設立されています。

例えば、知多半島では、「ごんぎつねと住める知多半島を創ろう」をテーマに知多半島北部の臨海工業地帯の企業緑地において、ビオトープの創出、外来種の除伐・在来種の植栽など、企業と学生たちが連携した取組が進められています。また、西三河地域では、企業の従業員のの方々による工場敷地に地域の在来種を植樹した森の整備や、森から採取した種から地域の在来種の苗木を育てる試みなどが行われています。

県では、こうした取組を県内全域で展開していきたいと考えています。事業者の皆様方にも、地域の生物多様性に関心を持っていただき、生態系ネットワーク取組にご支援ご協力をしていただけたら幸いです。